

下関漁港の輸出促進策の提案

児玉工¹(研究代表者:写真) 小竹直樹¹ 大木勲¹

¹ 水産研究・教育機構 水産大学校 水産流通経営学科



研究の目的

本研究では、下関漁港地方卸売市場の仲卸業者と山口県内の水産加工業者による水産物輸出の状況を把握するとともに、輸出促進に向けた課題を抽出します。また、潜在的輸出相手国における食文化・嗜好性に関する情報収集を行うとともに、情報をまとめた資料を作成します。これらを通して、水産物の輸出促進に資することが研究の目的です。

研究の成果

ヒアリング調査とアンケート調査によって、水産物輸出の状況、輸出上の障害、事業者が必要とする支援について把握しました(表1、表2、表3)。

表1 下関漁港地方卸売市場の仲卸業者による水産物輸出の状況

輸出先	輸出品目
韓国	マダイ、キダイ、アカエイ、タチウオ、など
中国 ベトナム	アカムツ、ウマヅラハギ、ガンギエイ、サワラ(サゴシ)、など

表2 山口県内の水産加工業者による水産物輸出の状況

輸出先	輸出品目
中国	魚肉ソーセージ、蒲鉾、レトルト食品(お粥)
香港	アカムツ(鮮魚)、魚肉ソーセージ、蒲鉾、レトルト食品(お粥)
台湾	蒲鉾、レトルト食品(お粥)
シンガポール	トラフグ身欠、アカムツ(鮮魚)、アカムツ(フィレ、干物)、蒲鉾
タイ	蒲鉾、ふりかけ
マレーシア	レトルト食品(お粥)、ふりかけ

表3 輸出上の障害と事業者が必要とする支援

輸出上の障害	事業者が必要とする支援
<ul style="list-style-type: none"> ・書類が煩雑(都度、書類を揃えるのが手間) ・輸出に適した魚種がない ・下関漁港で水揚げされる魚の鮮度 ・水揚量が少ない(ロット確保が難しい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・代金の保障 ・急速冷凍冷蔵施設の整備 ・実績のある商社の紹介 ・外国語通訳のサポート制度

潜在的輸出相手国における食文化・嗜好性に関する情報を、主要都市別にデータを入力し、入力情報を地域全体の地図上にまとめて表示するデータベースを構築しています。ヨーロッパ(図1)に関しては完成し、東アジア等の地域については令和3年3月末に完成予定です。

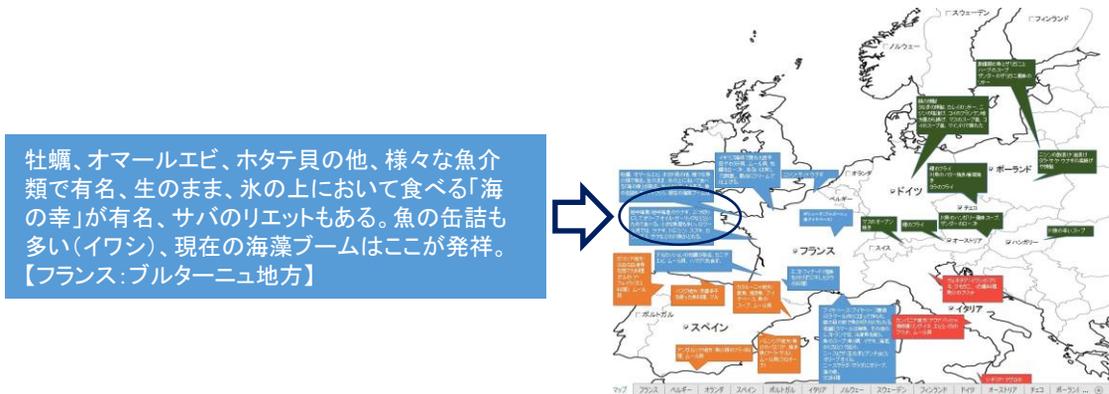


図1 データベースの表示イメージ

波及効果・政策提言

- 本研究で作成したデータベースは、新たな地域に輸出を検討する際に有益な情報を与えてくれます。
- 輸出上の障害と事業者が必要とする支援を踏まえた輸出環境の整備が望まれます(図2)。
- 輸出環境整備の状況に関する事業者への一層の情報提供が求められます。



図2 研究成果の波及効果